

## 鳥海山の火山活動解説資料（令和4年9月）

仙台管区气象台  
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

## ○ 活動概況

## ・ 噴気など表面現象の状況（図1～図6）

上郷2監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

15日に実施した現地調査では、それ以前の観測（2013年9月6日及び2016年9月14日）と同様、新山及びその周辺に噴気や地熱域はみられませんでした。また、鳥海湖、鍋森、扇子森及びその周辺に地熱域や噴気は認められませんでした。

## ・ 地震や微動の発生状況（図7）

火山性地震及び火山性微動は観測されませんでした。

## ・ 地殻変動の状況（図8、図10）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

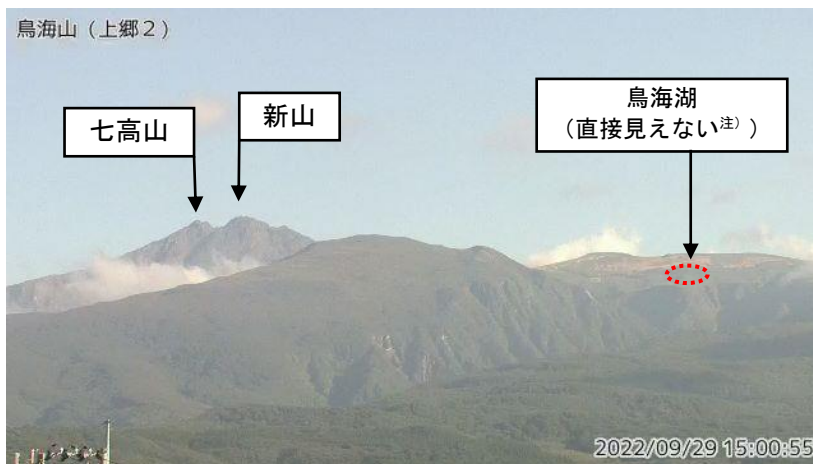


図1 鳥海山 山頂周辺の状況（9月29日）

- ・ 上郷2監視カメラ（山頂の北西約13km）の映像です。
- ・ 注）鳥海湖から噴気が噴出した場合、高さ200m以上のときに上郷2監視カメラで観測されます。監視カメラからは直接見えませんが、赤破線が鳥海湖の位置を示します。

噴気は認められませんでした。

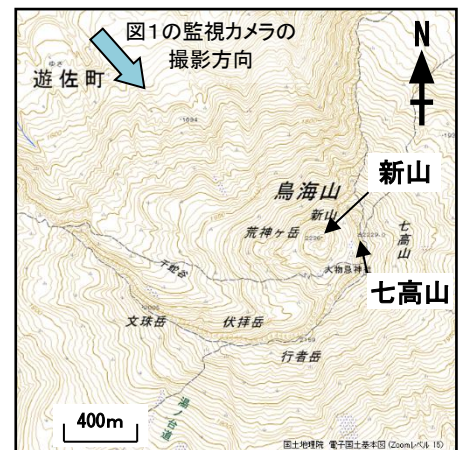


図2 鳥海山 新山と七高山位置図

この火山活動解説資料は気象庁ホームページで閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

次回の火山活動解説資料（令和4年10月分）は令和4年11月9日に発表する予定です。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」及び「電子地形図（タイル）」を使用しています。

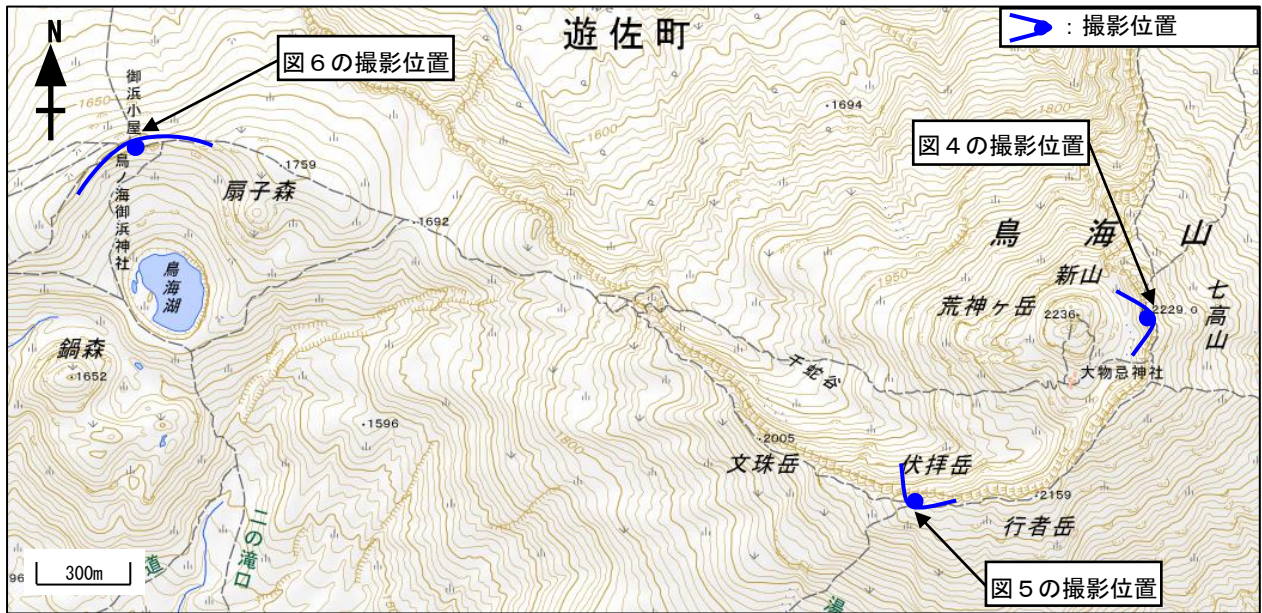


図3 鳥海山 可視画像と地表面温度分布撮影位置

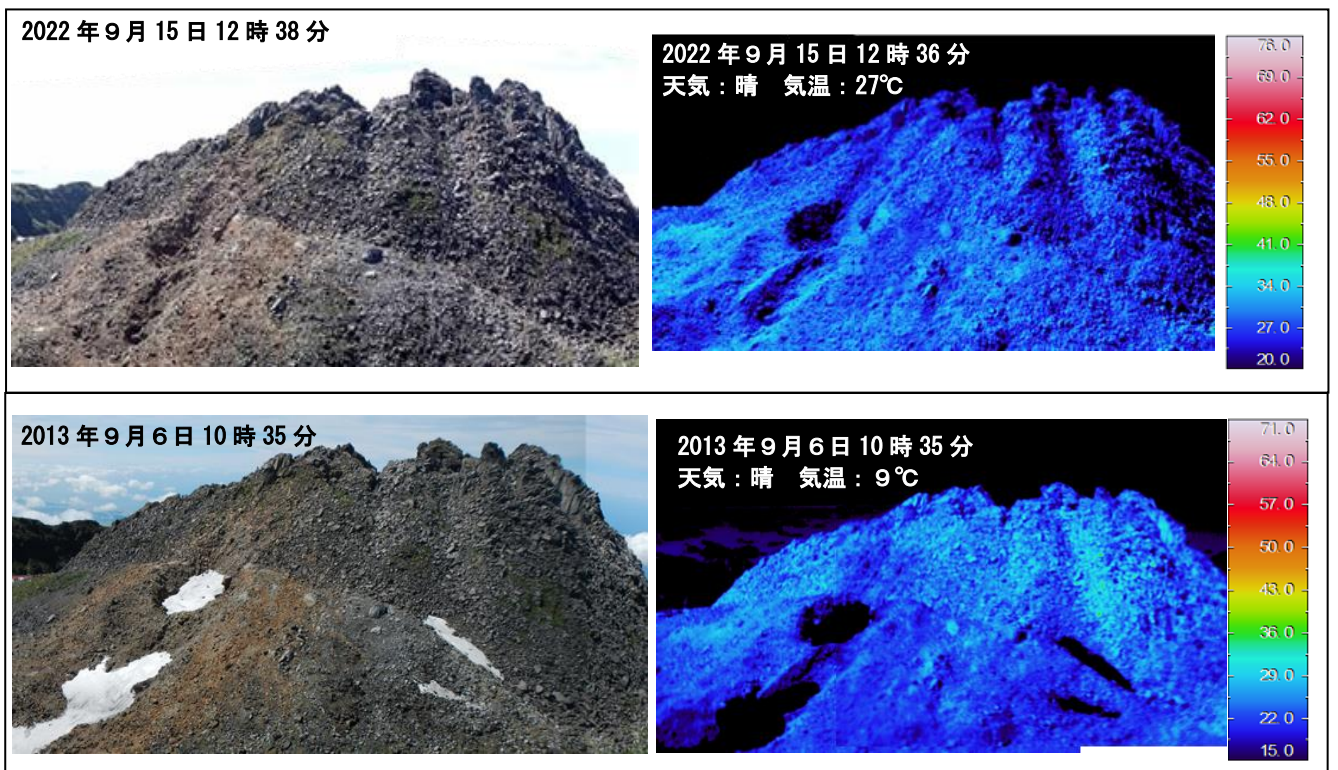


図4 鳥海山 七高山から撮影した新山の可視画像と地表面温度分布

- ・日射の影響により、裸地等では表面温度が高めに表示されています。
- ・前回の観測（2016年9月14日）では雲の影響がある為、それ以前の観測（2013年9月6日）と比較しています。

過去の観測と同様、噴気及び地熱域は認められませんでした。

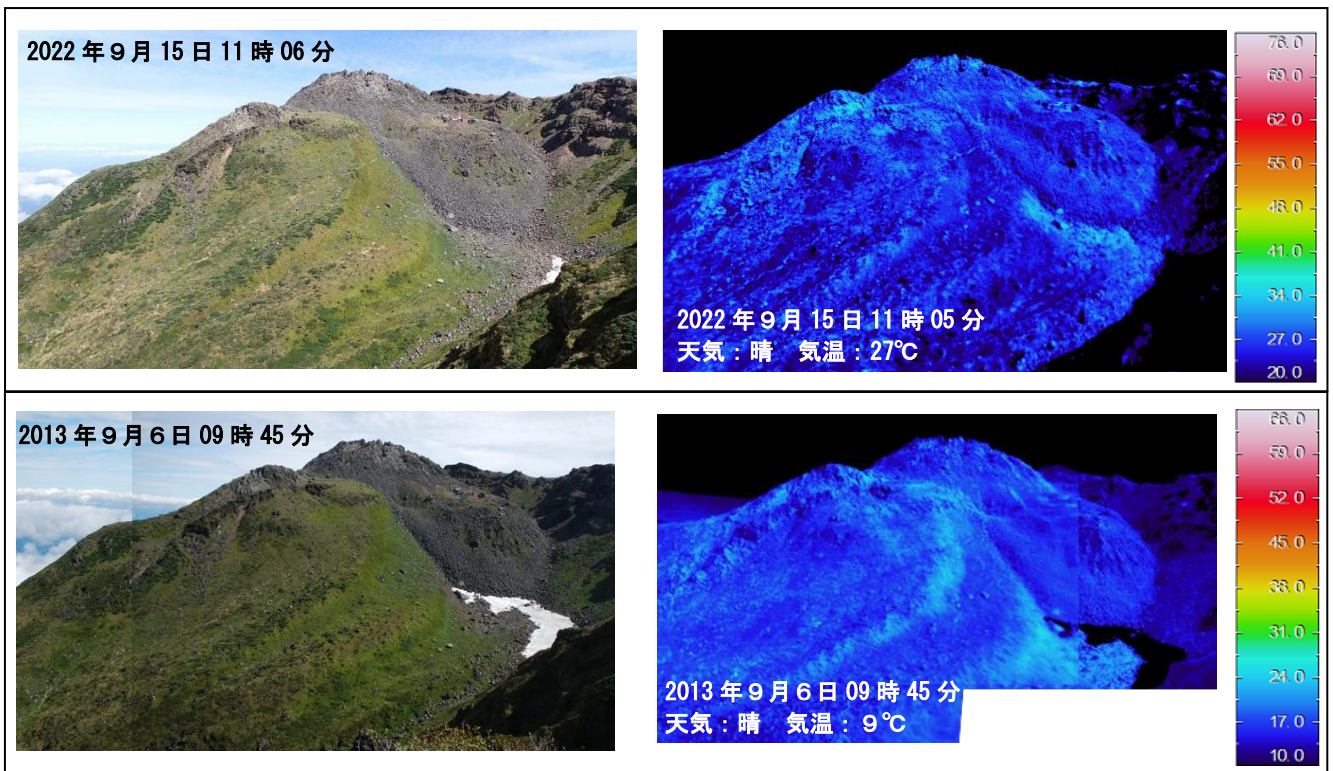


図5 鳥海山 伏拝岳から撮影した新山の可視画像と地表面温度分布

- ・日射の影響により、裸地等では表面温度が高めに表示されています。
- ・前回の観測（2016年9月14日）では雲の影響がある為、それ以前の観測（2013年9月6日）と比較しています。

過去の観測と同様、噴気及び地熱域は認められませんでした。



図6 鳥海山 御浜小屋から撮影した鳥海湖周辺の可視画像と地表面温度分布

- ・日射の影響により、裸地等では表面温度が高めに表示されています。

噴気及び地熱域は認められませんでした。

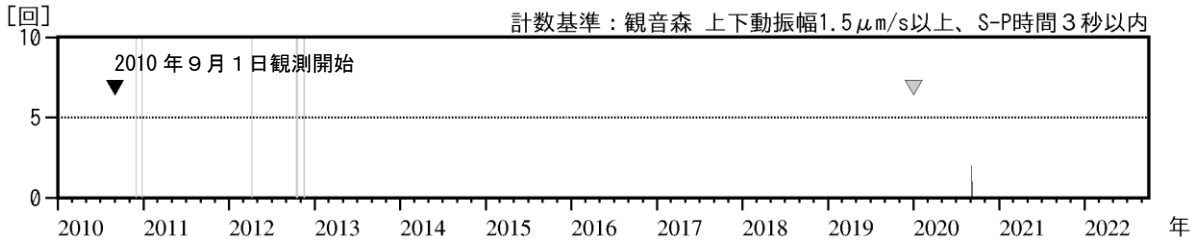


図7 鳥海山 火山性地震の日別回数（2010年9月～2022年9月）

- ・地震計数に使用した観測点は次の通りです。（角カッコ内は地震回数の計数基準）
  - ▼観測開始 2010年9月1日～ 観音森観測点 [振幅 1.5 $\mu$ m/s 以上、S-P 時間 2秒以内]
  - ▽ 2020年1月1日～ 観音森観測点 [振幅 1.5 $\mu$ m/s 以上、S-P 時間 3秒以内]
- ・图中灰色部分は欠測を表しています。
- ・2010年9月1日からの火山観測網によって観測された地震の回数です。

火山性地震および火山性微動は観測されませんでした。

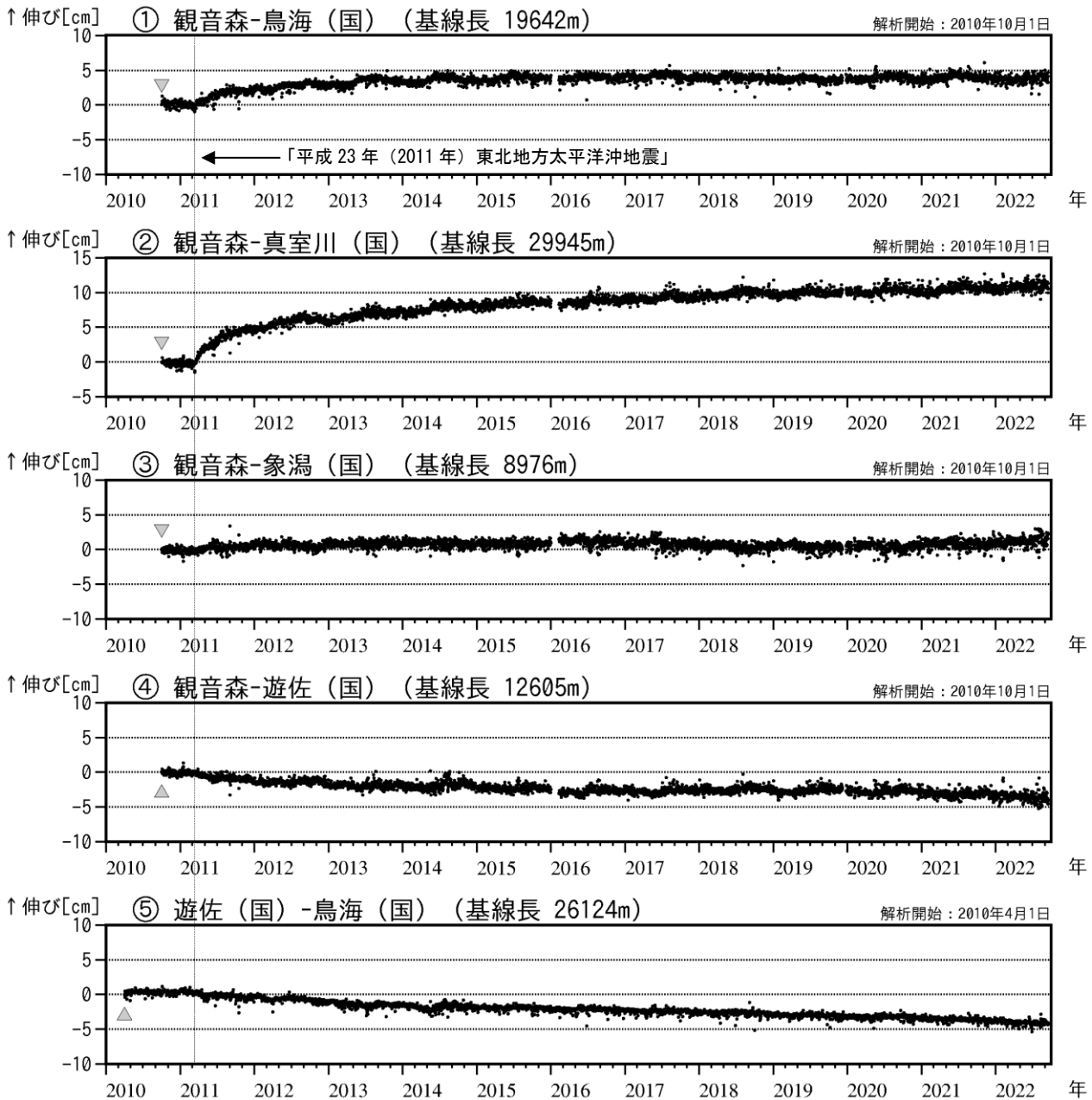


図8 鳥海山 GNSS 基線長変化図（2010年4月～2022年9月）

- ・「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
- ・①～⑤は図10のGNSS基線①～⑤に対応しています。
- ・グラフの空白部分は欠測を表しています。
- ▼▲：解析開始を示します。
- ・（国）は国土地理院の観測点を示します。

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

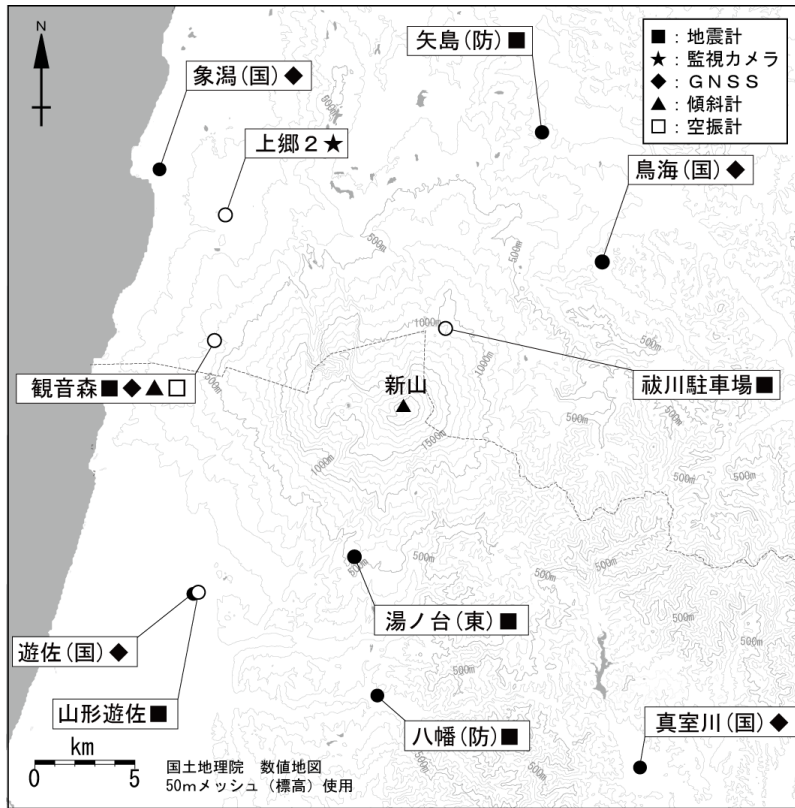


図9 鳥海山 観測点配置図

白丸（○）は気象庁、黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院 （東）：東北大学 （防）：防災科学技術研究所

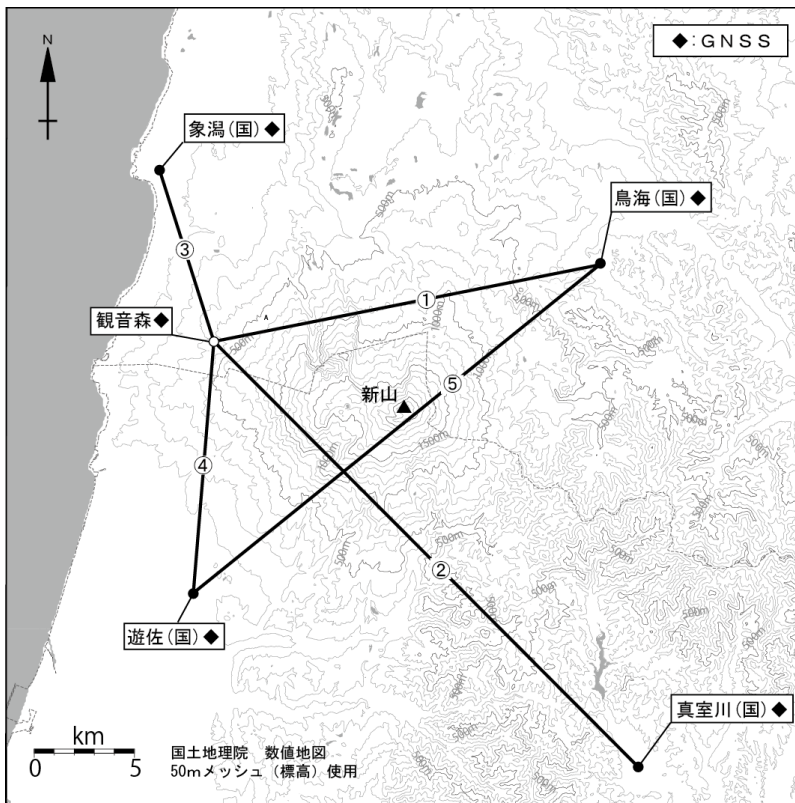


図10 鳥海山 GNSS 観測基線図

白丸（○）は気象庁、黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院